



サケの稚魚放流

栗山川の春の風物詩、サケの稚魚放流が3月5日、光クリーンパークせせらぎ広場で行われました。

この日は、町内を含め近隣の小中高等学校の児童・生徒265名の手により3万尾のサケが放流されました。大切に育てられた稚魚たちは、子供たちの「大きくなつて、帰つてこいよ！」の声援に、母なる川“栗山川”を旅立つていきました。

大事に育てよう、自然豊かな栗山川

3月14日、横芝町文化会館を会場に「第8回栗山川シンポジウム」が横芝町・光町の共催により開催されました。

第8回を数える今回は、「栗山川の自然環境と環境保全」と題した基調講演や改修事業の説明、サケの放流事業の報告などが行われ、会場に集まった大勢のみなさんは、ふるさとの川“栗山川”を、美しく、多くの生物が住める川にするため、どう関わり何をすべきか考える機会となりました。



(3/12 横芝中)

3月12日、横芝中学校で平成15年度卒業証書授与式が行われ、152名の3年生は、それぞれの思い出を胸に、卒業証書を受け取りました。また、18日には、大総小（13名）、横芝小（105名）、上堺小（18名）で卒業式が行われ、136名の6年生は、慣れ親しんだ学び舎を後にしました。

友や恩師との
思い出を胸に
”卒業式”